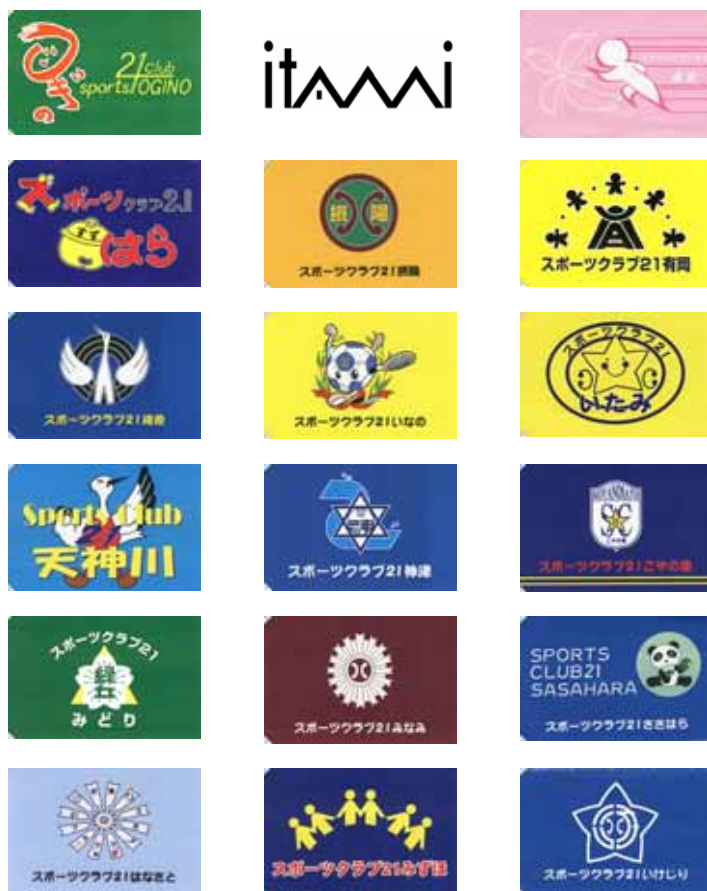


伊丹市スポーツクラブ21

運営の手引き



平成 19 年 12 月

伊丹市教育委員会

伊丹市スポーツクラブ21 運営の手引き

1. はじめに

スポーツクラブ21（以下「SC21」という。）については、これまでSC21の運営に関し、留意すべき原則を示した「SC21ひょうごガイドライン」並びに「SC21伊丹市ガイドライン」に沿って事業を展開してきました。

しかし、SC21設立後3～6年を経過した今、各クラブの運営委員等役員のみなさんから、「遵守要件や制限事項が多く、クラブ運営がスムーズにいかない」とか、「会員や指導者の確保が難しい」といった課題が指摘されています。

伊丹市では、各クラブを運営していただいているみなさまのこうした声や、毎年実施しているアンケート結果を踏まえ、平成12年に制定された県・市のガイドラインの趣旨を尊重しつつ、本事業の目的（ねらい）達成のために、より円滑なSC21運営ができるよう、新たに「スポーツクラブ21運営の手引き」を制定しました。

この手引きを、各クラブの運営の参考にいただき、豊かなコミュニティ社会が構築されますようお願いしています。

2. SC21の目的

SC21のめざすところ（ねらい）は、スポーツ活動や文化活動、ボランティア活動、イベントなどを通じて

親子のふれあいや地域の人々の交流を促すことによる「コミュニティの形成」

青少年にルールやマナーを守る精神を涵養する「教育の場の形成」

ライフステージに応じたスポーツ活動と健康の保持増進

等を確立することにあります。

設立当初は、このほかに「完全学校週5日制への対応」や「2006年のじぎく兵庫国体への参加母体となる」なども目的としていましたが、学校週5日制も定着し、国体も終了した現在では、上記の3点が大きな目的といえます。

3. SC21の実態

平成12年にスタートしたSC21事業は、現在では全県下の小学校区に827クラブが設置され、会員総数は342,462人、1クラブ平均414人（平成18.7.1現在）となっています。

伊丹市では、平成13年度から16年度に全17小学校区に設置され、会員数6,560人、1クラブ平均385人（平成18.12.31現在）となっています。

4. SC21の運営主体について

SC21の運営は、運営委員会によって行われています。運営委員会の主体は、より多くの地域の人々に参加していただくということから、ほとんどのクラブで地区社協等、既存のコミュニティ組織が中心になっています。この形で円滑に運営できる地域もあれば、一部の人に地域活動の役が集中し、運営に支障が出るといった課題も指摘されています。

県内のクラブを見ますと、PTAが運営主体となったり、既存のスポーツ団体等が中心になって運営している例もあります。また、事務処理等のため、事務局員を配置しているクラブが25%あります。事務局員の勤務形態は、常勤が3.9%、非常勤が、96.1%でそのうち手当を支給されている割合は、常勤は52%、非常勤は、30.5%となっています。（事務局員の手当平均は、常勤が約4,100円/日、非常勤が約3,000円/日）

5. 実施事業について

スポーツ活動やその他の活動を含めたSC21の事業は、SC21が主催して実施するものと、クラブ加盟の各団体（チーム）の活動に大別できますが、それらのすべてをSC21の事業としてとらえられています。

クラブ設立当初は、原則論が前面に出て、週1回以上、土曜日に、三世代交流事業を実施しなければならない・・・etc.といった形の取り組みをお願いしていたために、土曜日は指導者が確保できないとか、三世代を集めるのに苦労するとかの声がありました。

しかし、平成18年の県調査でも、定期的な活動で一番多いのは、平日夜間（65.1%）であるとか、活動種目もグラウンドゴルフ、卓球、バレーボール、少年野球、サッカーなどが上位を占めていることから、SC21主催事業というより、クラブ加盟の各団体（チーム）の活動が主体となっていることがわかります。

もちろん、スポーツクラブという以上、スポーツ活動を中心としながら三世代交流が図られ、地域コミュニティの輪が広がるという形が理想ですが、それに固執することで、一部の運営委員等役員の方に大きな負担がかかるといったことは避けなければなりません。

市としては、無理のない形で、SC21の目的を達成するための事業を各クラブの実態に合わせて展開していただければと考えています。

これまで実施されているニュースポーツや各種スポーツ教室、だれもが気軽に参加できる軽スポーツなどのほか、いろんな事業が考えられますが、平成17年に県の実施した調査結果で、特色ある取り組みとしてまとめられたものから以下に一部を抜粋します。

《イベントや会員割引》

- ・ 会員を対象とした体力測定、イベント開催時のバスの利用、運動会場でのバザー、ウォーキングの実施（丹波市）
- ・ 校区内で「ふれあい潮干狩り大会」や「自然体験学習」を実施（明石市）
- ・ 親睦ハイキングを実施（西宮市）

- ・ 年2回イベントを企画し、参加賞や食事などを提供して、年齢に関係なく交流を図っている。(西宮市)
- ・ ハイキングと温泉入浴をセットにした「ふれあいハイキング」の実施(高砂市)
- ・ ゴルフ練習場やグラウンドなどの施設の利用料の半額をクラブで負担。(丹波市)
- ・ 会員はプール利用料金が無料(丹波市)
- ・ バーベキューやキャンプファイヤー等を計画、スポーツ教室に現役スポーツ選手を招待(川西市)

《財源確保の取り組み》

- ・ フェスティバルや祭り、運動会でたこ焼きやとん汁を販売。(川辺郡)
- ・ バザーの実施。(西宮市)
- ・ 会報への広告を有償で募集。(丹波市)

《親子が参加しやすい事業》

- ・ ボーリング大会、グラウンドゴルフ、ウォーキングラリーの親子参加が非常に多い(南あわじ市)
- ・ カヌー教室、ディンギー教室、ヨットの体験乗船に親子で参加でき、昼食時にバーベキューなど、自然に親しむ機会を親子で体験。(明石市)
- ・ イベントの一つとして、餅つき大会を行い、学校、保護者、地域の方々、児童のつながりを深める。(神戸市)
- ・ 親子スポーツ交流試合、老人と子どもたちの交流会。(西宮市)
- ・ 学校、PTAと三者連携にて、親子のできるスポーツチャレンジを毎年開催。また、夏休みの学校プールを利用したプール開放。(芦屋市)
- ・ 運動嫌いの子には囲碁将棋教室、親子で参加できる体力測定等のイベントを開催。(宍粟市)

《その他》

- ・ 私有地の山林を借りて里山づくりを目指して活動。現在、山林にツリーハウスを建設中。(篠山市)
- ・ 毎年のイベント行事として、潮干狩り、ほたるハイクが会員に喜ばれている。(加東郡)
- ・ 文化面の活動として、園芸教室を開催。(西宮市)
- ・ 音楽鑑賞会の企画。(姫路市)
- ・ 学校施設の大掃除を実施。(加古郡)
- ・ 年末に凧作り教室を開催。(篠山市)

6. 運営費の執行について

SC21の運営費は、県助成金と会費収入が大きな柱です。

中でも、県助成金はその大半を占めていることから、その執行にあたっては、公金＝税という認識を持つことが重要です。

その上で、県のガイドラインの趣旨を踏まえ、SC21の目的達成のために展開する活動のための事業費であれば、各クラブで話し合っ、適切に執行していただければ問題ないと考えています。

スポーツクラブ21に関するご相談やお問い合わせは
伊丹市教育委員会スポーツ振興課 TEL:072-784-8088